



Left: Robert Morris, *Blind Time II (Number 13, December 24, 1976)*
©2019 The Estate of Robert Morris / Artists Rights Society (ARS), New York / JASPAR, Tokyo.
Photo courtesy of Castelli Gallery. C2883
Right: Jiro Takamatsu, *Rubbing*, 1974
©The Estate of Jiro Takamatsu, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

「Robert Morris -Jiro Takamatsu & Robert Morris from the 1970's」

前期 (高松次郎/ロバート・モリス二人展) : 2019年6月25日(火) - 7月31日(水)

後期 (ロバート・モリス個展) : 2019年8月3日(土) - 8月31日(土)

会場 : Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿#206

営業時間:12:00-19:00 定休日:日、月、祝日

*オープニングレセプションは開催いたしません。

2019年6月25日(火)より、Yumiko Chiba Associates viewing room shinjukuでは、高松次郎の「こすり」と、ロバート・モリスの「Blind Time」で構成した二人展を開催いたします。

高松次郎の「こすり」は、高松が1970年から手がけたドローイングです。70年代初頭は、高松が「影」「遠近法」「単体」シリーズなど、そのキャリアのなかでも重要な仕事をすでに発表し、現代美術界において高い評価を獲得した時期にあたります。平行して、高松は「こすり」を含む、多くのドローイングを手がけていました。高松は「こすり」において、紙に黒い幾何形態を描き、指などを使ってこすることで、純粹形態に破調やノイズが介在する画面をつくりだしました。また高松は、こすりという行為を加えることで、絵具の物質性を際立たせ、純粹形態を物理的な時空間に移し替えようとしていたと言えるかもしれません。

同時期、ミニマリズムやコンセプチュアル・アートの代表的作家として知られ、昨年逝去したロバート・モリスは、1973年から「Blind Time」と呼ばれるドローイングのシリーズの制作を開始します。「Blind Time」は手法などを変え2001年まで継続的に制作されました。「Blind Time」でモリスは、描き手の視覚を遮断した盲目(Blind)の状態に置き、目が見えない状態でドローイングを描くという実験を行いました。モリスはこの作品を、両方の手の指をつかい、画面に黒鉛かインクを直接こすりつけながら描いています。全てのシリーズは基本的に「正攻法ではない表現方法もしくは表現しないという方法の中でドローイングの基本を見つける」というコンセプトに基づいており、それは、視覚に依拠してきた西洋絵画史に対するモリスの挑戦であると同時に、外的な知覚情報を遮断した上でなされる精神の働きに関する彼の関心も示しています。

高松次郎とロバート・モリスが期せずして同時期に行っていた二つの作品群は、ともに作者の直接的な身体を画面に介在させ、視覚性や理念的なかたちの純粹性に疑いをさしはさむものだったと言えるでしょう。本展は、両者に共通する試みに着目し、会期を二期に分けて開催いたします。前期は、高松の「こすり」のドローイング全6点とモリスの「Blind Time」3点で構成され、後期は、モリスの70年代の作品3点に、80年代と90年代に制作された同シリーズを追加し構成します(後期は高松作品の展示はありません)。世界の反対側で制作していた、コンテンポラリー・アートの中核をなすアーティスト2人が、共通する葛藤や手法を模索した中から生まれたこれらの作品を、この機会に是非とも高覧ください。



■作家プロフィール

高松次郎 Jiro Takamatsu

1936年2月20日 - 1998年6月25日

美術家。1958年東京藝術大学絵画科（油画専攻）卒業。同年の第10回読売アンデパンダン展へ作品の出品を始める。1961年には点を思わせる抽象的な油彩絵画を出品していたが、第14回には「彫刻部門」に出品し、紐状の作品を発表。1963年第15回読売アンデパンダン展には同様に紐状に作られた作品を使用した《机の引き出しに関する反実在性について》、《トランクに関する反実在性について》、《カーテンに関する反実在性について》を発表し、「点」「紐」と呼ばれるシリーズへと広がりを見せる。その後「影」、「遠近法」、「波」、「弛み」、「単体」、「複合体」、「平面上の空間」、「形」など様々な作品展開を見せるが、物質、実体、言葉、空間についての思考は一貫しており、それを検証するかのように作品を制作し続けた。1967年に第5回パリ・ビエンナーレでテオドラン財団賞を受賞。1968年には第34回ヴェネツィア・ビエンナーレに日本代表として出品し、カルロ・カルダッツオ賞を受賞する。1970年に第10回日本国際美術展「人間と物質」、1977年第6回ドクメンタ(カッセル、ドイツ)に参加。2014-15年に東京国立近代美術館、2015年には大阪の国立国際美術館で大規模な回顧展が行われ、2017年には欧米の美術館で初めての回顧展となる「The Temperature of Sculpture」がイギリスのヘンリー・ムーア・インスティテュートにて開催された。高松次郎の作品は東京国立近代美術館、国立国際美術館、東京都現代美術館、グッゲンハイム美術館、ミネアポリス美術館、マイアミ美術館、ダラス美術館、ニューヨーク近代美術館、テート・モダンなど、国内外の主要な美術館で所蔵されている。

ロバート・モリス Robert Morris

1931年2月9日 - 2018年11月28日

1931年ミズーリ州カンザスシティに生まれる。カンザス大学で機械工学を学び、後にオレゴン州で哲学と心理学の勉強に没頭した。1954年にロバート・モリスが住んでいたサンフランシスコは、彼が即興劇とダンスに従事した場所であった。1960年ニューヨークへ移り住み、ジョン・ケージ、マルセル・デュシャン、ジャスパー・ジョーンズ、ラ・モンテ・ヤングと出会った。ニューヨークでは最初の大きなサイズの彫刻作品を制作し、また、グリーン・ギャラリーなどで1960年代初期に出現した、ミニマル・アート運動の創造に中心的役割を果たした。1967年モリスは最初のフェルト作品を制作し、1968年にレオ・カステリギャラリーで展示された。アート専門誌「Artforum」に「Anti Form」というエッセイを発表した。この時代の作品は《Untitled (Scatter Piece)》のように、アートの実践に関連して「不確定性」の概念を探求することへの関心を映し出している。同様な関心は、《Steam (蒸気)》における非硬質物質の使用にも表れている。1969年コーラン美術館はロバート・モリスの回顧展を企画し、同展はデトロイト美術館、ニューヨークのホイットニー美術館に巡回した。続いて1971年にはロンドンのテートで回顧展が開かれた。1994年にはニューヨークのグッゲンハイム美術館が大規模な回顧展を開催し、パリのボンビドー・センターに巡回された。ロバート・モリスの作品はニューヨーク近代美術館、シカゴ美術館、ワシントン・ナショナル・ギャラリー、パリのボンビドー・センター、ロンドンのテート・モダンといった世界中の主な美術館で所蔵されている。

■レクチャー/トークイベント 「盲目と失調ーモリスと高松について」

日時：2019年7月20日(土) 17:00-19:00 (受付開始 16:45)

会場：MORETHAN BANQUET, THE KNOT TOKYO Shinjuku (東京都新宿区西新宿 4-31-1)

*ホテル正面エントランスより入り、左手にある階段から2Fに上がって頂きますと、左側の奥に会場がございます。

<https://hotel-the-knot.jp/tokyoshinjuku/meeting-eventspace/>

登壇者：沢山遼 (美術批評) × 勝俣涼 (美術批評)

※事前申込制、参加費：¥1,000

【お申し込み方法】

件名「レクチャー/トークイベント参加」、本文に、参加人数、お名前、電話番号をご明記のうえ、event@ycassociates.co.jp までメールでお申し込みください。

※定員(50名)になり次第、受付を終了いたします。

※ギャラリーからの返信メールが届かない場合は、営業時間内にお問合せください。

■登壇者プロフィール

沢山遼 Ryo Sawayama

美術批評

2009年に「レイバー・ワーク・カール・アンドレにおける制作の概念」で『美術手帖』第14回芸術評論募集第一席。武蔵野美術大学、首都大学東京等で非常勤講師。美術批評家として、論文や雑誌などへの寄稿多数。

勝俣涼 Ryo Katsumata

美術批評

主な論文に、「未来の喪失に抗って-ダン・グレアムとユートピア」(2014年、『美術手帖』第15回芸術評論募集佳作)、「ジョン・バルデッサリの修辞学」(『引込線 2015』、2015年)など。主な展評に、『美術手帖』での月評連載(2015年4月号~2016年3月号)など。

【本展に関するお問合せ】ぜひ貴社にて御紹介くださいますようお願い申し上げます。画像データの御依頼等は下記までご連絡下さい。

ユミコチバアソシエイツ オフィス

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿#205 [Tel] 03-6276-6731 [e-mail] info@ycassociates.co.jp

[website] www.ycassociates.co.jp [営業時間] 12:00-19:00 [定休日] 日・月・祝日